

連携協約項目	No.	事業（取組）名	連携する市町						事業概要	KPI（成果指標）						評価	取組実績
			さ	東	土	小	三	直		綾	KPI	KPI説明	単位	R6 目標	R6 実績	達成率	
圏域全体の経済成長のけん引	ア	産学金官民一体となった懇談会の設置・運営等、国の成長戦略実施のための体制整備							産学金官民一体となった懇談会を設置・運営し、連携中枢都市圏において経済成長のけん引等に係る取組を検討するとともに、ビジョンの進行管理を行う。	圏域全体の経済成長のけん引等に係る連携事業数	瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョンに掲載する圏域全体の経済成長のけん引分野の事業（取組）数	事業	8	8	100%	A	【高松市】連携市町の担当者同士の情報共有を密にするため、事務局会を3回開催したほか、ビジョン懇談会にて連携に係る新規・拡充事業について意見やアイデアをいただき、令和7年度以降の連携事業の検討に生かした。また、圏域全体の経済成長のけん引等に係る連携事業について、新規事業を創出した。 【さぬき市】事務局会、懇談会への参加、運営等への協力を行った。 また、圏域全体の経済成長のけん引等に係る連携事業について、取組の検討を行った。 【東かがわ市】懇談会の設置・運営等に関し、必要な協力をを行い、連携事業の充実と圏域の活性化に寄与した。 【土庄町】高松市が中心となり、各市町の情報共有、連携を図るため事務局会を実施した。また、産学官民一体となったビジョン懇談会を実施した。 【小豆島町】担当者による事務局会に参加（WEB含む）し、連携に関しての情報共有を行った。 【三木町】懇談会の設置・運営等に関し、事務局会への出席及び必要な協力をを行う。 【直島町】事務局会、ビジョン懇談会等に参加した。 【綾川町】ビジョン懇談会など積極的に参加できた。
	イ	産業クラスターの形成、イノベーション実現、新規創業促進、地域の中堅企業等を核とした戦略産業の育成							高松市が高松商工会議所と共催で開催する、中小企業経営の合理化・近代化の促進並びに従業員の資質向上等を目的とした中小企業経営講習会について、連携市町の中小企業者にも幅広く周知・宣伝を行い、参加を促すことで、圏域内の中小企業・小規模事業者の経営力強化を図る。	講習会等受講者数	1年間に開催した講習会等の受講者数	人	2,500	1,498	60%	B	【高松市】高松商工会議所と共催で経営講習会を行い、中小企業経営の近代化・合理化並びに従業員の資質向上に努めた。 【土庄町】土庄町商工会と連携して、経営に関するセミナー等を開催し、中小企業の経営力強化に努めた。 【小豆島町】商工会等の産業団体にも協力いただき、町内事業者への積極的な周知を行い、参加を促した。
	ウ	地域資源を活用した地域経済の裾野拡大								連携市町共同で圏域内の地場産品を活用した共通返礼品を設定し、連携市町のポータルサイト等に掲載する。	共通返礼品の数	連携市町共同で圏域の地場産品を活用した共通返礼品を設定する。	品	3	3	100%	A

連携協約項目		No.	事業（取組）名	連携する市町						事業概要	KPI（成果指標）						評価	取組実績	
				さ	東	土	小	三	直		綾	KPI	KPI説明	単位	R6 目標	R6 実績	達成率		R6 総合 評価
圏域全体の経済成長のけん引	Ⅰ	戦略的な観光施策	4	誘客拡大に向けたプロモーション推進事業	○	○	○	○	○	○	国内外から訪れる観光客の目的地に選定されるため、圏域内市町の観光事業担当者による検討会の開催、観光周遊モデルコースの策定、HPやSNSを活用した圏域内市町のイベント情報の発信やプロモーションを行う。	主な観光施設等利用者数	圏域内市町の代表的な観光スポットの利用者数	千人	3,823	4,733	124%	B	【高松市】圏域内市町における広域観光圏の構築に向け、高松市公式観光サイト「イクスベリエンス高松」において、各市町の観光サイトのリンク、高松市近隣の観光地及び公共交通機関による相互のアクセス情報などを掲載。 2市2町(神戸市・高松市・土庄町・小豆島町)において神戸～小豆島～高松を結ぶFAMツアーを行い、包括連携協定における観光振興事業として関西エリアを繋いだ周遊型旅行商品の造成に取り組んだ。 【さぬき市】東讃エリア観光振興連携推進協議会(さぬき市・東かがわ市・三木町)での取組実績 ・スタンブラリー（R6.12.20～R7.3.16）：市町6会場、参加1,081人 ・PRキャンペーン ①大阪（R6.9.22）：買上客46人 ②高松（R7.2.23）：ワークショップ参加51人 ・英語Facebook「Discover Kagawa EAST AREA」 期間：R6.4.15～R7.3.31、投稿69回、フォロー3,530人 ・誘客活動 インターンシップ受入れ（R6.8.26～8.29） 四国4 国立大学生 4 名、東讃 3 市町を巡るモデルコースを提案 【東かがわ市】誘客のターゲットとするエリアを定め、当該エリアの旅行事業者やインフルエンサーなどを対象としたモニターツアーの開催。 【土庄町】特になし 【小豆島町】神戸市で開催される「神戸まつり」、「Love Port kobe みなとまつり」へ小豆島町・土庄町・高松市で連携したブース出店を行い、神戸～小豆島～高松間の航路を活用した顧客促進を行った。 航路で繋がる2市2町(神戸市・高松市・土庄町・小豆島町)において神戸～小豆島～高松を結ぶFAMツアーを行い、包括連携協定における観光振興事業として関西エリアを繋いだ周遊型旅行商品の造成に取り組んだ。 【三木町】特になし 【直島町】特になし 【綾川町】令和 6 年 3 月15日より、テナント募集していたレストラン（鰻のへそ）が入店し、道の駅滝宮全施設で営業ができた。結果利用数が増え、前年比103.4%となり、過去最高となった。 新型コロナが 5 類に変更されて以降、徐々に観光客が増えてきており、観光利用者が多いジョップ綾川と、地元利用者が多い讃さん広場滝宮店とさぬきうどんの駅綾川が、リニューアルオープン移行、着実に利用者を伸ばしている状況。
			5	MICE振興を通じた圏域経済の活性化事業	○	○	○	○	○	○	圏域内の市町と連携して、国際会議や全国会議等のMICEを誘致し、開催支援を行いながら、MICE参加者に対して、圏域内の歴史的・文化的魅力のPRを行うことで、圏域内での周遊を促進させ、圏域への交流人口の拡大による経済活性化、圏域のイメージアップを目指す。	圏域内の経済波及効果	圏域内の経済波及効果 ⇒高松観光コンベンション・ビューローが実施するMICE主催者団体やMICE関連施設に対する調査で得られたMICE開催経費、参加者の滞在中的消費額、MICE開催件数のデータに、香川県産業連関表の係数を掛け合わせて、算出するもの。	億円	39	44	113%	A	【高松市】※本取組のKPI項目は、高松観光コンベンションビューローが公表する値に沿って算出するものとしているが、令和 6 年度を対象期間とした値は令和 7 年 1 2 月に公表される予定であることから、今回の実績及び評価は、令和 6 年 1 2 月に公表された値（対象期間：令和 5 年 4 月～令和 6 年 3 月）を元に行うもの 【さぬき市】特になし 【東かがわ市】M I C E のテーマに応じた各市町のコンテンツの洗い出し（例：ものづくり関連企業の集まりならC R A S S O（クラッソ）など）。 【土庄町】特になし 【小豆島町】特になし 【三木町】特になし 【直島町】特になし 【綾川町】特になし

連携協約項目			No.	事業（取組）名	連携する市町							事業概要	KPI（成果指標）						評価		取組実績
					さ	東	土	小	三	直	綾		KPI	KPI説明	単位	R6 目標	R6 実績	達成率	R6 総合 評価		
圏域全体の経済成長のけん引	Ⅰ	戦略的な観光施策	6	デリバリーアーツ事業	○	○	○				○	住民が身近なところで生の優良な文化芸術に触れる機会を提供するため、公民館や公園、老人ホームなど住民の希望するところに、音楽や伝統芸能などの文化芸術を出前公演する。 企画・運営は、高松市が委託している公益財団法人高松市文化芸術財団が実施する。	鑑賞者数	参加を希望される協力団体の提供場所の規模や収容可能人数が、鑑賞者数に大きく影響するため、当該指標のみでは判断しかねる。限られた予算の中で、公演の質の維持と事業を継続していくことを重点に実施する。	人	2,300	2,348	102%	A	【高松市】協力団体や来場者にアンケートを実施するなどの方策で、意見を取り入れ、非常に満足度の高い公演が行われた。 【さぬき市】さぬき市民文化祭寒川祭に併せて、デリバリーアーツ2025を開催した。 讃岐国分寺太鼓の迫力ある演奏は文化祭をより一層盛り上げてくれました。 【東かがわ市】讃岐国分寺太鼓「和・心・響・感」 ①R6.11.10（日）三本松コミュニティセンター200名 ②R6.12.1（日）五名コミュニティセンター400名 【土庄町】町民全体に文化芸術を楽しんでもらえる機会を提供するため、町HP・広報誌等で町民全体に周知する。また、開催日一週間前から町の募債無線でも周知する。 【綾川町】滝宮公民館にて讃岐国分寺太鼓の公演を実施した。	
			7	文化芸術鑑賞等の機会の提供事業	○	○	○	○	○	○	○	①ミュージカル鑑賞：高松市において実施される劇団四季「こころの劇場」ミュージカル公演について、圏域内の児童（小学6年生）を招待する。 ②美術館学習：美術館機能を活用し、圏域内の小・中学生に美術鑑賞学習（常設、特別展の鑑賞）や施設見学等の機会を提供する。	参加校数	2事業（※）の延べ参加校数とする。 ※「ミュージカル鑑賞」と「美術館学習」	校	98	97	99%	A	【高松市】①令和6年度劇団四季ミュージカル『ガンバの大冒険』が、令和7年2月12日（水）～14日（金）の3日間、計5回公演にてサンポートホール高松大ホールで実施され、連携市町合わせて69校、児童4,356名、教員296名の計4,652名が鑑賞した。 ②高松市内の小・中学校に美術館学習の周知を行い、美術館での鑑賞学習及び施設見学等に28校が参加した。また、高松市内及び連携する市町圏域内の小・中学校に特別展チラシを配布し、美術鑑賞の機会を設けた。 【さぬき市】①令和6年度劇団四季ミュージカル高松公演の鑑賞実施。市内7小学校（津田、さぬき南、志度、さぬき北、寒川、長尾、造田）の6年生と引率教員総勢310名が参加。 ②参加なし 【東かがわ市】①参加なし ②中学校1校が展覧会見学参加。 【土庄町】①令和6年度劇団四季ミュージカル高松公演の実施。町内2小学校の6年生と引率教員総勢86名が参加。 ②参加なし 【小豆島町】①劇団四季ミュージカル『ガンバの大冒険』高松公演に4校が参加。 2/12（水）池田小学校 2/13（木）苗羽小学校、安田小学校 2/14（金）星城小学校 ②参加なし 【三木町】①町内小学校（4校）の6年生が、サンポートホール高松で開催の劇団四季ミュージカル『ガンバの大冒険』を鑑賞 ②参加なし 【直島町】①劇団四季ミュージカル公演を鑑賞することで、普段触れることの少ない芸術文化に触れられ、とても貴重な体験ができた。 ②参加なし 【綾川町】①2月12日から14日の3日間で、劇団四季ミュージカルに町内全ての小学校5校の6年生が参加。児童数208名、引率教員19名。計227名が参加した。 ②参加なし	

連携協約項目		No.	事業（取組）名	連携する市町						事業概要	KPI（成果指標）						評価	取組実績
				さ	東	土	小	三	直		KPI	KPI説明	単位	R6 目標	R6 実績	達成率	R6 総合 評価	
圏域全体の 経済成 長のけん引	Ⅰ	8	戦略的な観光施策 たかまつユニバーサルデザインマップ活用事業	○	○	○	○	○	○	・全ての人が安心して快適に過ごせるように、瀬戸・たかまつエリアの施設におけるユニバーサルデザイン情報を掲載した「たかまつユニバーサルデザインマップ」の充実を図るとともに、活用を促進する。	「たかまつユニバーサルデザインマップ」閲覧数	瀬戸・高松広域連携中枢都市圏を対象とした「たかまつユニバーサルデザインマップ」の閲覧数	件	150,000	241,516	161%	A	【高松市】たかまつユニバーサルデザインマップの掲載施設について、各施設管理者に対して、掲載内容の調査を実施した。 【さぬき市】たかまつユニバーサルデザインマップに掲載している施設情報について、確認を行った。 【東かがわ市】市内対象施設の情報を提供し、「たかまつユニバーサルデザインマップ」の充実を図るとともに、活用を促進した。 【土庄町】引き続き、たかまつユニバーサルデザインマップに16施設掲載することができている。 【小豆島町】UD(ユニバーサルデザイン)マップ掲載HP上において、町施設も掲載。年齢や性別、障がいの有無、国籍の違い等に関わらず、誰もが快適に生活できるように、UDの考え方を取り入れたまちづくりの推進に寄与。 【三木町】UD対応施設に関する情報提供 【直島町】町内対象施設の情報を提供し、「たかまつユニバーサルデザインマップ」の充実を図るとともに、活用を促進した。 【綾川町】取組実績なし。
	Ⅱ			○	○	○	○	○	○	・全ての人が安心して快適に過ごせるように、瀬戸・たかまつエリアの施設におけるユニバーサルデザイン情報を掲載した「たかまつユニバーサルデザインマップ」の充実を図るとともに、活用を促進する。	「たかまつユニバーサルデザインマップ」閲覧数	瀬戸・高松広域連携中枢都市圏を対象とした「たかまつユニバーサルデザインマップ」の閲覧数	件	150,000	241,516	161%	A	【高松市】たかまつユニバーサルデザインマップの掲載施設について、各施設管理者に対して、掲載内容の調査を実施した。 【さぬき市】たかまつユニバーサルデザインマップに掲載している施設情報について、確認を行った。 【東かがわ市】市内対象施設の情報を提供し、「たかまつユニバーサルデザインマップ」の充実を図るとともに、活用を促進した。 【土庄町】引き続き、たかまつユニバーサルデザインマップに16施設掲載することができている。 【小豆島町】UD(ユニバーサルデザイン)マップ掲載HP上において、町施設も掲載。年齢や性別、障がいの有無、国籍の違い等に関わらず、誰もが快適に生活できるように、UDの考え方を取り入れたまちづくりの推進に寄与。 【三木町】UD対応施設に関する情報提供 【直島町】町内対象施設の情報を提供し、「たかまつユニバーサルデザインマップ」の充実を図るとともに、活用を促進した。 【綾川町】取組実績なし。
高次の都 市機能の 集積・強化	Ⅲ	9	医療人材の確保・育成 事業	○	○	○	○	○	○	看護師・准看護師の養成施設に対し、運営費を助成する。	看護師等養成所卒業生の資格取得率	看護師等養成所への支援を通して、卒業生の資格習得率の向上を図ることで、医療人材の育成及び確保を図る。	%	100	97	97%	A	【高松市】看護師及び准看護師の養成所（高松市医師会看護専門学校、木田地区医師会附属看護学院）の運営費の一部を助成することにより、医療人材の確保を図った。 【三木町】准看護師の養成所（木田地区医師会附属看護学院）の運営費の一部を助成することにより、医療人材の確保を図った。
	Ⅳ			○	○	○	○	○	○	高松市立みんなの病院が主催して、各公立医療機関等の医療職員（医師・歯科医師は対象外だが、参加は可）に、実地での実効性を高めるための交流研修を行う。	地域医療連携カンファレンス・セミナーにおける高松市外参加者数	地域の連携医療機関の医師との医療連携を進めるため、地域医療連携カンファレンス・セミナーを開催し連携強化に努める。	人	15	33	220%	A	【高松市】地域医療連携カンファレンス（参集）を1回、地域医療連携セミナー（Web）を6回開催し、高松市外から33名（うち連携市町から12名）の参加があった。 【さぬき市】高松市立みんなの病院が主催する地域医療連携セミナー（Web）に8名参加した。 【土庄町】（令和6年度は参加実績なし） 【小豆島町】（令和6年度は参加実績なし） 【三木町】高松市立みんなの病院が主催する地域医療連携カンファレンス（参集）に1名、地域医療連携セミナー（Web）に2名参加した。 【綾川町】高松市立みんなの病院が主催する地域医療連携カンファレンス（参集）に1名参加した。
高度な中心 拠点の整備・ 広域的公共 交通網の構築	Ⅴ	10	医療職員の交流等 事業	○	○	○	○	○	○	高松市立みんなの病院が主催して、各公立医療機関等の医療職員（医師・歯科医師は対象外だが、参加は可）に、実地での実効性を高めるための交流研修を行う。	地域医療連携カンファレンス・セミナーにおける高松市外参加者数	地域の連携医療機関の医師との医療連携を進めるため、地域医療連携カンファレンス・セミナーを開催し連携強化に努める。	人	15	33	220%	A	【高松市】地域医療連携カンファレンス（参集）を1回、地域医療連携セミナー（Web）を6回開催し、高松市外から33名（うち連携市町から12名）の参加があった。 【さぬき市】高松市立みんなの病院が主催する地域医療連携セミナー（Web）に8名参加した。 【土庄町】（令和6年度は参加実績なし） 【小豆島町】（令和6年度は参加実績なし） 【三木町】高松市立みんなの病院が主催する地域医療連携カンファレンス（参集）に1名、地域医療連携セミナー（Web）に2名参加した。 【綾川町】高松市立みんなの病院が主催する地域医療連携カンファレンス（参集）に1名参加した。
	Ⅵ			○	○	○	○	○	○	交通系ICカード等を活用することにより、圏域内における公共交通サービスを高水準で均一なものとして提供する。また、圏域内の自治体が運行に係る経費を負担しているコミュニティバス、乗合タクシーに対して交通系ICカード等による決済システムの拡大が図られており、今後において、多様な決済システムの導入について検討、実施する。	公共交通利用促進事業実施自治体数	取組の目的は、ICカード等を利用した公共交通利用促進事業を拡大することにより、公共交通の利便性を向上し、利用の促進を図るものであり、施策の参加自治体を増やす。	自治体	3	3	100%	A	【高松市】交通結節拠点のことでん伏石駅の利用状況や、本市が実施している電車・バス乗継割引等の施策の有効性について、情報発信に努めた。 【さぬき市】取組実績なし 【土庄町】運転免許証自主返納支援事業としてのICカードの発行、中学3年生へのICカードの支給等を引き続き行った。 【小豆島町】オリバス及び町営バスにおいて、交通系ICカード（IruCa・10カード）の決済システムを導入継続し、利便性の維持及び利用の促進を実施。 【三木町】担当者間で事業促進の協議を行い、ICカードの利用促進について時刻表マップや車内掲示等でPRした。 【綾川町】ゴールドイルカ事業を継続実施。 セーフティイルカ（70歳未満の運転免許証返納者）へのサービスも継続実施。
高度な中心 拠点の整備・ 広域的公共 交通網の構築	Ⅶ	11	ICカード等を利用した公共交通利用促進事業	○	○	○	○	○	○	交通系ICカード等を活用することにより、圏域内における公共交通サービスを高水準で均一なものとして提供する。また、圏域内の自治体が運行に係る経費を負担しているコミュニティバス、乗合タクシーに対して交通系ICカード等による決済システムの拡大が図られており、今後において、多様な決済システムの導入について検討、実施する。	公共交通利用促進事業実施自治体数	取組の目的は、ICカード等を利用した公共交通利用促進事業を拡大することにより、公共交通の利便性を向上し、利用の促進を図るものであり、施策の参加自治体を増やす。	自治体	3	3	100%	A	【高松市】交通結節拠点のことでん伏石駅の利用状況や、本市が実施している電車・バス乗継割引等の施策の有効性について、情報発信に努めた。 【さぬき市】取組実績なし 【土庄町】運転免許証自主返納支援事業としてのICカードの発行、中学3年生へのICカードの支給等を引き続き行った。 【小豆島町】オリバス及び町営バスにおいて、交通系ICカード（IruCa・10カード）の決済システムを導入継続し、利便性の維持及び利用の促進を実施。 【三木町】担当者間で事業促進の協議を行い、ICカードの利用促進について時刻表マップや車内掲示等でPRした。 【綾川町】ゴールドイルカ事業を継続実施。 セーフティイルカ（70歳未満の運転免許証返納者）へのサービスも継続実施。
	Ⅷ			○	○	○	○	○	○	交通系ICカード等を活用することにより、圏域内における公共交通サービスを高水準で均一なものとして提供する。また、圏域内の自治体が運行に係る経費を負担しているコミュニティバス、乗合タクシーに対して交通系ICカード等による決済システムの拡大が図られており、今後において、多様な決済システムの導入について検討、実施する。	公共交通利用促進事業実施自治体数	取組の目的は、ICカード等を利用した公共交通利用促進事業を拡大することにより、公共交通の利便性を向上し、利用の促進を図るものであり、施策の参加自治体を増やす。	自治体	3	3	100%	A	【高松市】交通結節拠点のことでん伏石駅の利用状況や、本市が実施している電車・バス乗継割引等の施策の有効性について、情報発信に努めた。 【さぬき市】取組実績なし 【土庄町】運転免許証自主返納支援事業としてのICカードの発行、中学3年生へのICカードの支給等を引き続き行った。 【小豆島町】オリバス及び町営バスにおいて、交通系ICカード（IruCa・10カード）の決済システムを導入継続し、利便性の維持及び利用の促進を実施。 【三木町】担当者間で事業促進の協議を行い、ICカードの利用促進について時刻表マップや車内掲示等でPRした。 【綾川町】ゴールドイルカ事業を継続実施。 セーフティイルカ（70歳未満の運転免許証返納者）へのサービスも継続実施。

連携協約項目		No.	事業（取組）名	連携する市町						事業概要	KPI（成果指標）						評価 R6 総合 評価	取組実績
				さ	東	土	小	三	直		KPI	KPI説明	単位	R6 目標	R6 実績	達成率		
高次の都市機能の集積・強化	ウ		高等教育・研究開発の環境整備															
		12	産学官連携を通じた、高等教育・研究開発充実のための環境整備事業	○	○	○	○	○	○	県内大学等を基点とした産学官のネットワークである「大学・地域共創プラットフォーム香川」を活用するなど、行政と大学及び企業等との連携事業を増加させ、産学官連携を推進する中で、圏域内の地域社会・地域経済を支える人材の育成と定着を目指す。	大学等及び企業等との連携事業数	大学等及び企業等との連携事業数	事業数	264	299	113%	A	【高松市】大学・地域共創プラットフォーム香川で県内理系高等教育機関の紹介等の事業を実施するとともに、地域の安心・安全・災害対策や、企業間及び産業間のビジネス マッチング支援等に関して、新たに 3 事業者と包括連携協定を締結した。 【さぬき市】大学・地域共創プラットフォーム香川を通して、地域住民とのタウンミーティングを実施したほか、学生を募集し、地域活性化を図る活動を行った。 【東かがわ市】地域課題の解決のため、香川大学と連携し、市内 2 地区において、活動支援事業や交流事業を実施した。 【土庄町】連携事業の実施までには至っていないが、大学と域学連携を行った。 【小豆島町】教育関係機関等との包括連携協定を締結するなど、高等教育・研究開発充実のための環境整備を行った。 【三木町】大学・地域共創プラットフォーム香川に参加し、若者の人材育成・地元定着について議論するとともに、包括連携協定を締結している企業・大学などと新たに事業を開始した。 【直島町】引き続き継続実施。 【綾川町】県内大学の学生プロジェクトと連携して事業を実施している。また、町内の農業経営高等学校と連携して事業を実施している。
	エ		その他、高次の都市機能の集積・強化に係る施策	○	○	○	○	○	○	データの利活用により、本市が抱える多様な地域課題の解決を図るため、産学民官の多様な主体が参画する「スマートシティかまづ推進協議会」と連携し、IoT共通プラットフォーム等を活用して、様々な分野のデータの連携に向けた検討、データの収集・分析等を行う。	連携して収集・分析する地域課題の解決につながるデータ分野の数	IoT共通プラットフォーム等を活用して、各市町と連携し、収集・分析する地域課題の解決につながるデータ分野の数	分野	2	1	50%	C	【高松市】引き続き、防災分野において、IoT共通プラットフォームを綾川町と共同利用している。 【さぬき市】情報を共有できる体制はあるが、具体的な取組は行っていない。 【東かがわ市】なし 【土庄町】なし 【小豆島町】高松市とは連携体制を構築できているが、実施には至っていない。 【三木町】関係者間の調整・情報共有を行った。 【直島町】特にごいません。 【綾川町】河川監視カメラ・水位計を現に設置し、監視できている。出水期における避難情報発令のための情報として活用している。
圏域全体の生活関連機能サービスの向上	ア	生活機能の強化に係る政策分野	(ア) 地域医療	14						急性期医療を提供する高松市立みんなの病院とその附属機関である塩江分院を設置運営し、良質な医療を提供していることを踏まえ、患者の受入方策の一つである地域医療連携について、より一層の強化を図るために、公立病院を含めた近隣市町の医療機関に対して、患者の紹介・逆紹介等の交流を働きかけ、圏域の医療提供体制の充実を図る。	高松市立みんなの病院への紹介患者のうち連携市町の医療機関からの紹介患者数	地域の連携医療機関との適切な機能分担・医療連携を進めるため、連携市町の医療機関からの紹介患者を受け入れる。	人	330	619	188%	A	【高松市】圏域の医療提供体制の充実を図るため、連携市町から619名の紹介患者を受け入れた。 【土庄町】高松市立みんなの病院へ4名の患者を紹介した。 【小豆島町】高松市立みんなの病院へ18名の患者を紹介した。 【三木町】高松市立みんなの病院へ314名の患者を紹介した。 【直島町】高松市立みんなの病院へ2名の患者を紹介した。 【綾川町】高松市立みんなの病院へ281名の患者を紹介した。
										急性期医療を提供する高松市立みんなの病院とその附属機関である塩江分院を設置運営し、良質な医療を提供していることを踏まえ、患者の受入方策の一つである地域医療連携について、より一層の強化を図るために、公立病院を含めた近隣市町の医療機関に対して、患者の紹介・逆紹介等の交流を働きかけ、圏域の医療提供体制の充実を図る。	高松市立みんなの病院からの逆紹介患者のうち連携市町の医療機関への逆紹介患者数	地域の連携医療機関との適切な機能分担・医療連携を進めるため、連携市町の医療機関への逆紹介を行う。	人	435	394	91%	A	【高松市】圏域の医療提供体制の充実を図るため、連携市町へ394名の患者を逆紹介した。 【土庄町】高松市立みんなの病院から15名の患者の逆紹介を受けた。 【小豆島町】高松市立みんなの病院から8名の患者の逆紹介を受けた。 【三木町】高松市立みんなの病院から199名の患者の逆紹介を受けた。 【直島町】高松市立みんなの病院から4名の患者の逆紹介を受けた。 【綾川町】高松市立みんなの病院から168名の患者の逆紹介を受けた。

連携協約項目				No.	事業（取組）名	連携する市町						事業概要	KPI（成果指標）						評価	取組実績
						さ	東	土	小	三	直		綾	KPI	KPI説明	単位	R6 目標	R6 実績		
圏域全体の生活関連機能サービスの向上	ア	生活機能の強化に係る政策分野	(ア)	地域医療	15	救急医療体制の確保事業							夜間急病診療所における県内患者数のうち、連携市町（三木町、直島町、綾川町）患者数の割合	連携市町においても、救急時の夜間急病診療所の利用を促し、夜間急病診療所における県内患者数のうち、連携市町患者数割合（令和5年4月1日時点の高松市と連携市町である三木町、直島町、綾川町の人口比である11.1%をR10 KPI数値目標とする）の増加を目指す。 （令和4年度実績4.0%）	%	5.0	3.9	78%	A	【高松市】地区医師会への在宅当番医制事業の委託、歯科救急医療センターにおける休日・夜間歯科診療運営事業への助成、病院群輪番制病院運営事業に対する助成、病院群輪番制病院設備整備事業及び夜間急病診療所の指定管理者による運営により、休日・夜間における初期及び二次救急体制の確保を図った。 【三木町】地区医師会への在宅当番医制事業、病院群輪番制病院運営事業及び病院群輪番制病院設備整備事業に対する関係町負担金の支出により、休日・夜間における初期及び二次救急体制の確保を図った。 【直島町】地区医師会への在宅当番医制事業及び病院群輪番制病院運営事業に対する関係町負担金の支出により、休日・夜間における初期及び二次救急体制の確保を図った。 【綾川町】地区医師会への在宅当番医制事業の委託により、休日・夜間における初期及び二次救急体制の確保を図った。
					16	救急艇の活用事業							小豆島から高松市までの1件あたりの患者搬送時間	同左	分/件	40	40	100%	A	【高松市】（土庄町）出救急出場件数48件、搬送人員46人、（小豆島町・直島町）救急出場・搬送ともに実績なし 【土庄町】救急艇運用規定書に基づく、適切な連携を維持し、運用に従事した。土庄町民25名及び島外者2名を救急搬送した。 【小豆島町】救急艇運用規定書に基づき、迅速な医療連携体制がとれた。 【直島町】実績はなかったが、夜間の高松方面へ搬送する場合について利用を検討した。
					17	遠隔医療ネットワークを使った連携事業							医療情報公開実績件数	患者の同意に基づき、参画医療機関からの求めに応じた診療情報（画像・カルテ等）の公開件数	件	230	97	42%	C	【高松市】かがわ医療情報ネットワーク（K-MIX R）を利用して、参加医療機関間での診療情報の閲覧が97件あった。 【さぬき市】さぬき市民病院としてK-MIX Rに参画した。 【土庄町】小豆島中央病院としてK-MIX Rに参画した。 【小豆島町】小豆島中央病院としてK-MIX Rに参画した。 【三木町】町立の医療機関を有しないため、K-MIX Rには参画できていない。 【綾川町】綾川町国民健康保険陶病院及び綾上診療所としてK-MIX Rに参画した。
					18	「地域包括ケア病棟」運用事業							地域包括ケア病棟の入院患者のうち連携市町在住の患者数	地域包括ケア病棟の設置により、圏域の医療提供体制の充実が図られるとともに、連携市町からの患者を受け入れる。	人	75	86	115%	A	【高松市】地域包括ケア病棟へ、連携市町から86名の入院患者を受け入れた。 【さぬき市】高松市立みんなの病院の地域包括ケア病棟へ22名の患者の入院があった。 【土庄町】高松市立みんなの病院の地域包括ケア病棟へ2名の患者の入院があった。 【小豆島町】高松市立みんなの病院の地域包括ケア病棟へ2名の患者の入院があった。 【三木町】高松市立みんなの病院の地域包括ケア病棟へ31名の患者の入院があった。 【綾川町】高松市立みんなの病院の地域包括ケア病棟へ29名の患者の入院があった。
					19	がん検診の広域利用事業							連携市町において、集団検診に加え、高松市医師会加入の医療機関等での個別検診（子宮頸がん・乳がん検診）による受診を可能にする。	高松市医療機関でがん検診を希望した者のうち、検診受診につながった者の割合	高松市医療機関でがん検診を希望した者のうち、検診受診につながった者の割合	%	100	100	100%	A

連携協約項目				No.	事業（取組）名	連携する市町							事業概要	KPI（成果指標）						評価	取組実績
						さ	東	土	小	三	直	綾		KPI	KPI説明	単位	R6 目標	R6 実績	達成率		
園域全体の生活関連機能サービスの向上	ア	生活機能の強化に係る政策分野	(イ) 介護	20	地域密着型サービス（認知症対応型共同生活介護）広域利用事業							○	高松市地域密着型サービス事業所指定に係る制限に関する要綱において、高松市域内の地域密着型サービス（認知症対応型共同生活介護）については、原則、高松市転入後 6 か月を経過しない者の利用又は入居はできないが、当該サービス事業所がない直島町からの転入者には、6 か月が経過していても利用又は入居できる運用とする。	認知症対応型共同生活介護事業所への周知率	当該サービス事業所の指導・監督権限に基づき周知を行った割合	%	100	100	100%	A	【高松市】高松市地域密着型サービス事業者指定に係る制限に関する要綱において、本市域内の地域密着型サービス（認知症対応型共同生活介護）については、原則、本市転入後 6 ヶ月を経過しない者の利用又は入居はできないが、当該サービス事業所がない直島町からの転入者には、6 ヶ月が経過していても利用又は入居できる運用とする。 【直島町】当該地域への認知症対応型共同生活介護への入所希望の相談件数は 0 件であったが、引き続き、相談者に対して周知を行う。また、地域の医療機関やケアマネジャーに対しての情報提供を行う。
				21	在宅医療・介護連携推進事業						○	○	高齢者が安心して暮らせる地域づくりを推進するため、在宅での医療と介護の在り方について検討し、医療機関と介護事業者等との連携強化に取り組む。	多職種連携研修会等の参加者数	各連携市町が独自に開催する多職種連携研修会等に参加している専門職や地域住民等の人数 (内訳聞き取り高松市150、三木町30、直島町10)	人	190	305	161%	B	【高松市】市民が医療や介護が必要になっても、住み慣れた地域で暮らし続けるために活用できる資源を知り、人生の最期を迎える時の本人や家族の選択や心構えについて考えるきっかけとして、医療介護の専門職及び市民に対して研修会を実施。他市町の医療介護専門職の職能団体を通して周知し、連携市町からも数名参加があった。 【三木町】医療・介護の多職種研修会として、「地域において多職種で支援するACP」を開催、60名の参加があった。医療・介護の支援者側がACPの研修を行った。価値観についてのワークを通じて、多職種が共に話し合い、考えることで連携を深める一助となった。また、他市町の事業担当者の参加もあった。 【直島町】園域内での取り組みについて、具体的な取り組みに至っていない。今年度は情報交換会にも参加できなかった。
				22	地域包括支援センター運営事業	○	○	○	○	○	○	○	地域包括支援センターの運営に関する取組について、園域内の市町において情報交換会を開催し、効果的なセンター運営のためのノウハウの共有や、連携して解決すべき課題の検討などを行う。	情報交換会における検討議題数	情報交換会において、効果的なセンター運営のためのノウハウの共有や共同で解決策を検討した議題数	議題	8	7	88%	A	【高松市】情報交換会をWEB開催し、チームオレンジ等の認知症施策やBCP作成など、喫緊の課題について情報共有や意見交換を行った。 【さぬき市・東かがわ市・土庄町・小豆島町・直島町・綾川町】高松市と同様 【三木町】情報交換会をWEB開催し、認知症総合支援事業、生活支援体制整備事業、BCP作成後の動き、介護予防の指定、会計任用職員業務等の課題について各市町の情報共有や意見交換を行い参考になった。
				23	介護認定審査会事業							○	○	「介護認定審査会業務の事務委託に関する規約」に基づき、三木町・直島町・綾川町の各介護認定審査会業務について、高松市が各町から受託して実施する。	介護認定審査会開催件数	原則週 2 日（15回）開催される介護認定審査会開催の開催数（グループ毎の合計）	回	694	619	89%	A
			(ウ) 福祉	24	自立支援協議会運営事業							○	○	障がい福祉の関係機関等で構成される高松園域自立支援協議会の中心となる相談事業所と連携し、障がい者への支援に努める。	全体会開催回数	定期的な情報共有を図るとともに、検討する場として開催している、全体会開催回数を成果指標とする。	回	2	2	100%	A

連携協約項目				No.	事業（取組）名	連携する市町						事業概要	KPI（成果指標）						評価	取組実績			
						さ	東	土	小	三	直		綾	KPI	KPI説明	単位	R6 目標	R6 実績	達成率		R6 総合 評価		
圏域全体の生活関連機能サービスの向上	ア	生活機能の強化に係る政策分野	(ウ)	福祉	25	障害支援区分等審査会業務の連携事業						○	○	○	高松市の障害支援区分等審査会において、各町から依頼される審査業務を行うことにより、障害支援区分等認定業務の実施と効率化を図る。	審査会開催回数	原則毎週水曜日に審査会を開催していることから、開催回数を成果指標とする。	回	50	50	100%	A	【高松市】担当者による情報交換を行い、より一層の連携を進める。 【三木町】普段から担当者同士で情報交換を行い、連携の強化に努める。 【直島町】担当者間の情報交換を常に行い、繋がりを強化していく。 【綾川町】積極的な情報共有を行うことで、高松市、連携市町共に不明瞭な点を減らす。
					26	ファミリー・サポート・センター事業	○	○			○	○	子育ての支援を受けたい人といいたい人が会員となり、一時的な子育てを助け合う組織「ファミリー・サポート・センター」を、連携市町間で活用することで、子育てしやすい環境を整備する。	ファミリー・サポート・センター事業利用件数	ファミリー・サポート・センター事業利用件数	件	9,350	8,695	93%	B	【高松市】登録会員数：2,619人（依頼会員1,956人、提供会員589人、両方会員74人） 援助活動件数：8,095件 会員養成講座：年3回、会員スキルアップ講座：年2回、 会員交流会：年2回開催 ファミサポ通信：36・37号発行 【さぬき市】登録会員数：383人（依頼会員234人、提供会員142人、両方会員7人） 援助活動件数：430件 会員養成講座：年1回 会員スキルアップ研修：年2回 全会員対象講習会：年2回 地域子育て支援センターでの出張登録会：年5回 ファミサポ通信：63～66号発行 【東かがわ市】登録会員数：178人（おねがい会員116人、まかせて会員58人、どちらも会員4人） 援助活動件数：170件 会員養成講座：年1回、スキルアップ研修会：年3回、 交流会：年2回 ファミサポ通信：32～34号発行 【三木町】登録会員数：106人（おねがい会員77人、まかせて会員26人、どちらも会員3人） 「MIKI IKU BON」、広報掲載等にて周知。 ま出張登録会を2回開催。 【綾川町】登録会員数：93人（お願い会員58人、まかせて会員58人、どちらも会員4人） 出張登録会；年2回実施		
		(エ)	教育・文化・スポーツ	27	移動図書館巡回事業						○	高松市移動図書館車が公立図書館のない地域に巡回し、図書の貸出・返却、リクエスト（本の予約等）など、図書館サービスを提供する。	貸出冊数	直島町の巡回ステーション2か所における年間図書貸出冊数	冊	7,000	3,107	44%	C	【高松市】4月から1月までの間、月1回、直島町内のステーション2か所を巡回し、図書館サービスを提供した。なお、システム更新があったため、2月は返却のみ受け付け、3月は巡回を中止した。 【直島町】・年間利用者のべ326名・同貸出し冊数3,107冊 事業へのニーズは高い。			

連携協約項目					No.	事業（取組）名	連携する市町						事業概要	KPI（成果指標）						評価	取組実績
							さ	東	土	小	三	直		KPI	KPI説明	単位	R6 目標	R6 実績	達成率	R6 総合 評価	
圏域全体の生活関連機能サービスの向上	ア	生活機能の強化に係る政策分野	(工)	教育・文化・スポーツ	28	読書推進ボランティア養成事業	○	○	○	○	○	○	絵本の読み聞かせやブックスタートを行うボランティアのほか、対面朗読ボランティアなどの技術の習得や向上を図るため、連携市町のボランティア（グループ）も参加対象として、講座や研修会を開催する。	講座受講者数	読書推進に係るボランティア養成講座の年間受講者数	人	250	62	25%	C	【高松市】・関係者及び団体、施設への周知の徹底 ・活動報告の発信 ・講座内容の見直しや情報交換を行う ・地域に合った講座の開催 【さぬき市】・関係者及び団体、施設への周知の徹底 ・地域に合った講座の開催 【東かがわ市】・市内おはなし会ボランティアへの周知は行っている。 取りまとめや研修費の負担は行っていない。 【土庄町】関係者及び団体、施設への周知 【小豆島町】読み聞かせボランティアの方へチラシ頒布 【三木町】・養成講座は未実施ではあるが、関係機関が実施する研修会に参加。 ・メンバーで集まり、検品作業と一緒に配布するプレゼント作成を行い、交流を深めた。 【直島町】圏域内での取り組みについて、具体的な取り組みに至っていない。 【綾川町】・広報・宣伝活動及び参加者の取りまとめを行う。 ・講座等の企画・運営に協力する。
					29	帰国児童等支援事業					○		近隣自治体と比較して、支援ケースが多い ○高松市の支援者情報と、近隣自治体の支援者情報を共有する。	帰国児童等への日本語指導等対応率	指導を行った件数/指導が必要な帰国児童等	%	300	200	67%	B	【高松市】近隣自治体と要支援情報等について情報を共有し、支援が必要な児童生徒の対応に生かした。 【三木町】高松市等と日本語指導者の情報共有に努め、支援が必要な児童生徒への迅速で、確実な対応に生かした。 【綾川町】支援対象者がいなかった。
					30	特別支援教育推進連携事業		○	○	○		○	高松市で実施する特別支援関係研修会を連携市町との共催で行う。また特別支援に関する課題に対しての情報交換を行う。	研修に対する満足度	各市町の研修参加者による研修受講後の研修に対するの満足度の平均点（最高4点）	点	3.5	3.7	106%	A	【高松市】令和6年7月31日に各市町の希望者が参加する特別支援に関する研修会を実施し、教員の資質向上を図ることができた。また、特別支援教育に関する内容について、各市町で情報交換を行い、各市町の施策の充実につとめた。 【土庄町】令和6年7月31日に高松市主催の特別支援教育に関する研修会に本町の希望者が参加し、特別支援教育に関する内容について、市町で情報交換を行うことで教員の資質向上を図ることができた。 【小豆島町】町内の特別支援教育にかかわる教員の意欲、資質の向上が図られた。 【三木町】令和6年7月31日に実施された特別支援教育に関する研修会に参加し、教員の指導力や資質の向上を図ることができた。また、特別支援教育の実践について、他市町と情報交換を行い、三木町の特別支援教育の充実に努め、支援体制を振り返ることができた。 【綾川町】令和6年7月31日の特別支援に関する研修会に参加し、教員の資質向上を図ることができた。また、特別支援教育に関する内容について、各市町で情報交換を行い、特別支援教育の充実につとめた。

連携協約項目					No.	事業（取組）名	連携する市町						事業概要	KPI（成果指標）						評価 R6 総合 評価	取組実績
							さ	東	土	小	三	直		KPI	KPI説明	単位	R6 目標	R6 実績	達成率		
圏域全体の生活関連機能サービスの向上	ア	生活機能の強化に係る政策分野	(I)	教育・文化・スポーツ	31	こども未来館学習体験事業	○		○	○	○	○	高松市こども未来館で実施するこども未来館学習について、利用を希望する圏域内の小・中学校にも提供する。 【学習体験内容】 プラネタリウムの投影を通した天体学習、実験・観察を通した学習、昆虫・科学展示物を通した学習・図工・美術に関する制作活動、展示や映像資料を用いた平和学習などを実施する。	こども未来館学習参加校数	同左	校	62	64	103%	A	【高松市】こども未来館学習参加校は、53校であり、目標値を上回った。また、連携市町に事業案内等を行い、参加希望校を募った。 【さぬき市】こども未来館学習参加校は、3校であり、目標値を下回ったものの、市内公立小学校全7校のうちで3校の参加があったことから、実績としてはまずまずといえる。 【土庄町】こども未来館学習参加校は、1校であり、目標値を達成した。 【小豆島町】こども未来館学習に参加した学校は2校であり、目標値と同じであった。非常に効果的な学習であるので、引き続き、参加希望校を募ってきたい。 【三木町】町内4校の小学校すべてが参加し、児童の視野を広げ、自ら学び考えようとする力を育んだ。 【直島町】参加者数人（児童17人、引率教員1人） 【綾川町】小学校が秋の校外学習等で参加する場合があった。
					32	史跡・遺跡の調査研究及びその成果の発信事業	○	○	○	○		○	圏域内の史跡・遺跡の調査研究について、特に埋蔵文化財の調査技術、調査成果等に関する情報交換を行う。 史跡・遺跡の展示・講座等のための資料の相互貸借を行い、連携して情報発信を行う。	連携事業による展示・講座等の参加者数	圏域内の史跡・遺跡の調査研究についての成果を紹介する展示・講座等の参加者数	人	800	1,231	154%	A	【高松市】小豆島町・土庄町の文化財関係委員会に委員として職員を6回派遣したほか、小豆島町・綾川町とそれぞれ1回ずつ発掘調査成果報告展示を行い、合計1,231名の参加者を得た。 【さぬき市】埋蔵文化財調査成果についての情報交換を行い、その成果を展示資料の解説として分かりやすく伝えた。 【東かがわ市】高松市の勝賀城跡・高松城跡の調査成果との比較検討の成果をもとに、引田城跡啓発事業（引田城ガイド等）を実施し、24回253名の参加があった。 【土庄町】土庄町の文化財関係委員会活動へ高松市職員を5回派遣していた（会議3回、講座1回〔参加者40名〕、調査1回）。 【小豆島町】土庄町と両町で助成している石丁場調査委員会において、高松市の埋蔵文化財専門職員に参画していただいている。 【綾川町】高松市に「すべと窯跡」の出土品を貸与し、連携して展示を行った。
					33	中学校総合体育大会等の連携事業					○	○	関係町教育委員会や高松地区中学校体育連盟が連携し、高松地区中学校総合体育大会等の体育大会を開催する。	中学校総合体育大会等における実施競技数	中学校総合体育大会・中学校新人体育大会における実施競技数に、中学校駅伝競走大会を加えた競技数	競技	18	17	94%	A	【高松市】高松地区総合体育大会、高松地区新人体育大会を開催し、生徒の体力・運動能力の向上や相互の友情を深めるとともに、教職員の体育指導の資質を高めることができた。 【三木町】高松地区総合体育大会、高松地区新人体育大会を高松市と直島町で開催し、生徒の体力・運動技能の向上を図り、人間関係を紡ぐとともに、教職員の指導力を高めることができた。 【直島町】総合体育大会等を通じ、生徒の体力・運動能力の向上、教職員の体育指導等の資質を高めることができた。

連携協約項目					No.	事業（取組）名	連携する市町						事業概要	KPI（成果指標）						評価		取組実績	
							さ	東	土	小	三	直		綾	KPI	KPI説明	単位	R6 目標	R6 実績	達成率	R6 総合 評価		
圏域全体の生活関連機能サービスの向上	ア	生活機能の強化に係る政策分野	(エ)	教育・文化・スポーツ		34	地域密着型トップス ポーツチームの試合観戦 機会等の提供事業	○	○	○	○	○	○	○	圏域内の児童生徒等に、高松市内を拠点に活動している地域密着型トップス ポーツチーム（カマタマーレ讃岐（サッカー） 、香川オリーブガイナーズ（野球）、香川 ファイブアローズ（バスケットボール）、香川 アイスフェローズ（アイスホッケー））の試合 観戦の機会を提供する。 また、当日試合会場でのイベントを通じ て、市町間の交流促進や市町民の一体 感の醸成を図りながら、各市町の観光など をPRすることにより、県外サポーター等の誘 客につなげる。	トップスポーツチーム試合観戦 者数	地域密着型トップススポーツ4 チー ムのホームゲームにおける観戦者 数	（人）	72,100	90,459	125%	A	【高松市】 圏域内の児童生徒等に、高松市内を拠点に活動している地域密 着型トップススポーツチームの試合観戦の機会を提供するため、チーム等との連絡調 整及び取りまとめ事務を行った。 【さぬき市】なし 【東かがわ市】香川県地域密着型スポーツ活用協議会交流事業（ホームタウ ンデー・観戦バスツアー等）を実施し、各小中学校・こども園へチラシの配布及 びＨＰで募集を募り、１０組２０人の参加をいただいた。 【土庄町】連携事業としての実績なし。 ※香川県地域密着型スポーツ活用協議会の事業メニューを活用した独自事業 として、香川ファイブアローズの小豆島合宿を誘致し、住民交流イベント等を実施 した。 【小豆島町】チラシ等の配布 【三木町】 地域密着型トップススポーツチームと連携したイベントを開催するため、 チームとの調整や町PR素材の調達を行った。令和６年度は新たにホームタウン デーを実施した。（香川ファイブアローズ） 【直島町】圏域内の児童等に周知するものの参加者が集まらない現状がある。し かし、トップチームのプレーを身近で感じて意欲等の形成を図るため、比較的近い 開催場所での実施があれば、しっかり周知していきたい。 【綾川町】試合観戦の機会は提供できていないもののカマタマーレ讃岐、香川ファ イブアローズによるスポーツ教室やイベントの実施を通じて県内プロスポーツチームへ の興味を喚起している。
			(オ)	土地利用		35	土地利用施策の広域 的な連携・推進事業					○	○	集約型の都市構造に向けて、特定用途 ○ 制限地域の見直しなど、広域的な観点か ら、土地利用施策の連携・推進を行う。	KPI設定対象外	-	-	-	-	B	【高松市】連携町が参加する、高松広域都市圏都市交通マスタープランフォロ アップ委員会等の各種委員会、会議において本市における都市構造集約化の 施策や状況について周知、情報共有をおこなった。 【三木町・綾川町】連携町が参加する、高松広域都市圏都市交通マスタープラ ンフォローアップ委員会等の各種委員会、会議において、都市構造集約化の施 策や状況について周知、情報共有を引き続き行った。		
			(カ)	地域振興		36	獣害対策事業					○			三木町と連携して東植田町と三木町朝 倉地区に生息域を拡大しているニホンザル の出没場所・被害場所を集約し、追い払 いとともに、捕獲場所の選定を行い、効果 的な捕獲檻の設置を実施する。	ニホンザルの農作物への被害 面積	高松市鳥獣被害防止計画に基 づく、ニホンザルの農作物への被 害面積	ha	0.15	0.45	300%	A	【高松市】サルの出没情報を共有し、出没頻度の高い地域に集中的にわなを設 置した。これによりサルを4頭捕獲した。 【三木町】サルの出没情報を共有し、出没頻度の高い地域に集中的にわなを設 置した。
						37	生涯学習推進事業			○	○				生涯学習の推進に向けた取組を連携して 行う。具体的には以下の取組を行う。 ①高松市生涯学習センターで実施する各 種講座について、連携市町住民にも参加 を呼びかける。 ②同様の講座を連携市町が開催する場合、講座内容や講師などの情報提供を行 う。 ③地域において生涯学習を推進・援助す る人材を養成する定例研修会への、連携 市町（公民館等）の職員の参加を呼び かける。 ④連携市町の生涯学習情報に関するホー ムページを相互にリンクさせる。	生涯学習コーディネーター養成 講座参加人数	本市がほぼ毎月開催している生 涯学習コーディネーター養成講座 への年間参加延べ人数	人	486	359	74%	B	【高松市】生涯学習コーディネーター養成講座を、年間14回実施し、うち12回に ついて、本市各コミュニティセンターに加えて、連携町である2町に対して開催を案 内した。また、生涯学習センターで実施している講座を掲載している「まなびかんづ め」を連携町に送付し、連携町での周知等を依頼した。 【土庄町】高松市からの情報を町役場生涯学習課に設置するなど、町民への周 知を行った。 【小豆島町】特にありません。

連携協約項目					No.	事業（取組）名	連携する市町							事業概要	KPI（成果指標）						評価	取組実績
							さ	東	土	小	三	直	綾		KPI	KPI説明	単位	R6 目標	R6 実績	達成率		
圏域全体の生活関連機能サービスの向上	ア	生活機能の強化に係る政策分野	(カ) 地域振興	38	男女共同参画センター学習研修事業	○		○	○			○	高松市男女共同参画センターで実施している各種講座の情報提供や出前講座を実施する。	学習研修事業参加者数	学習研修事業に参加することによって、男女共同参画に関する意識啓発につながる	人	2,500	1,787	71%	B	【高松市】男女共同参画に対する理解を深めるため、男女共同参画センターにおいて、各種セミナー・講座を実施した。 【さぬき市】高松市男女共同参画センターだよりを課内で回覧し情報共有している。さぬき市での催しについても、必要に応じて同センターをはじめとした圏域市町に情報共有する予定である。 【土庄町】特になし。 【小豆島町】高松市男女共同参画センターで実施している各種講座のチラシを設置して情報提供を行った。出前講座を実施することはできなかった。 【綾川町】高松市男女共同参画センターが主催する学習研修事業のチラシの設置を継続して行い、参加者を増やすことで、男女共同参画意識を高める。	
				(キ) 災害対策	39	災害時相互応援事業	○	○	○	○	○	○	○	圏域における各市町が、地震等による大規模な災害時における防災対策の一層の充実強化を図るために、物資・労力等の相互応援を行う。	KPI設定対象外	-	-	-	-	B	【高松市・さぬき市・東かがわ市・土庄町・小豆島町・三木町・直島町・綾川町】圏域市町に大規模な災害が発生していないため、実績はないが、平常時から連携を図り、発生時に的確に対応できるよう備えた。	
			40		香川県消防相互応援事業	○	○	○	○	○	○	○	消防組織法（昭和22年法律第226号）第39条の規定により締結されている香川県消防相互応援協定に基づいて大規模災害等発生時に相互に応援を行う。	KPI設定対象外	-	-	-	-	A	【高松市】関係市町の消防機関と連携して香川県内で中国・四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練を実施することにより、共通認識を持つことができ、受援体制の強化等が図られた。 【さぬき市】中国・四国ブロック緊急援助隊合同訓練が本市で実施され、関係市町と連携し、受援体制の強化が図られた。 【東かがわ市】中国・四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練の実施により、有事の際の対応方法等についての認識の強化が図られた。 【土庄町】関係市町との大規模災害時の相互応援に関して取り決めておくことで圏域の消防防災力の向上を図っている。 【小豆島町】相互応援体制を維持し、不測の事態に備えた。 【三木町】特になし 【直島町】圏域住民のために必要であり、協定を継続した。 【綾川町】中国・四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練に見学として参加し災害時の体制の再確認ができた。		
			41		高松空港及びその周辺における消火救難活動事業					○		○	高松空港や圏域における航空機に関する火災若しくは空港の運用に影響を及ぼす火災又はそれらの発生のおそれのある事態等の発生に際し、各市町の消防機関が高松空港株式会社と連携して、活動を行う。	KPI設定対象外	-	-	-	-	A	【高松市】高松空港株式会社が計画する各種訓練に参加し、迅速かつ適切な事故対応手順の確認を行った。 【三木町】特になし 【綾川町】協定を活用するような事例がなかったため、特になし。		
			42	消防業務の広域化事業					○		○	消防組織法及び消防法に定める消防事務（消防団に関する事務、水利施設の設置、維持及び管理に関する事務並びに水防に関する事務を除く）について、事務委託方式により広域化し、消防体制の基盤強化を図る。	KPI設定対象外	-	-	-	-	A	【高松市】受託町における消防行政を円滑に実施するとともに、安全で安心して暮らせるまちづくりを推進した。 【三木町】高松市消防業務の事務委託に関する規約に基づき、消防事務を一部委託する。 【綾川町】常備消防事務委託			

連携協約項目				No.	事業（取組）名	連携する市町							事業概要	KPI（成果指標）						評価	取組実績
						さ	東	土	小	三	直	綾		KPI	KPI説明	単位	R6 目標	R6 実績	達成率	R6 総合 評価	
圏域全体の生活関連機能サービスの向上	ア	生活機能の強化に係る政策分野	(キ) 災害対策	43	地域防災対策事業	○	○	○	○	○	○	高松市主催で開催している市民防災講演会に、各市町の防災担当者も参加し、地域防災力の向上につなげるとともに、情報交換会を開催し、市町が抱える課題について情報共有を行い、連携を図っていく。	講演会等に参加した自治体数	高松市主催で開催している市民防災講演会や、情報交換会に参加した自治体数	自治体	8	8	100%	A	【高松市】本市主催の市民防災講演会（1/28）を案内するとともに、同日、防災担当者情報交換会を開催し、圏域全市町に参加いただいた。 【さぬき市】高松市主催の市民防災講演会（1/28）と防災担当者情報交換会に参加した。 【東かがわ市】防災担当者情報交換会にオンラインで参加し、圏域市町と連携を図ることが出来た。 【土庄町】高松市主催の市民防災講演会（1/28）と防災担当者情報交換会に参加した。 【小豆島町】高松市主催の市民防災講演会（1/28）と防災担当者情報交換会に参加した。 【三木町】市民防災講演会及び防災担当者情報交換会への出席 【直島町】1月28日に高松市主催の市民防災講演会及び防災担当者情報交換会に出席した。 【綾川町】特になし	
			(ク) 環境	44	一般廃棄物の処理・処分事業						○	高松市は、綾川町から委託を受け、西部グリーンセンターにおいて、綾川町の区域から排出される一般廃棄物（し尿及び浄化槽汚泥を除く。）の中間処理（焼却、破砕）を行う。また、高松市国分寺地区から排出される一般廃棄物を中間処理した後に生じる残さの埋立処分に関する業務を綾川町に委託する。	KPI設定対象外	-	-	-	-	-	A	【高松市】綾川町の区域から排出される一般廃棄物（し尿及び浄化槽汚泥を除く。）の中間処理（焼却、破砕）を行った。 また、高松市国分寺地区から排出される一般廃棄物を中間処理した後に生じる残さの埋立処分に関する業務を綾川町に委託し、残さの搬入量に応じた経費を負担した。 【綾川町】高松市国分寺地区から排出される一般廃棄物を中間処理した後に生じる残さの埋立処分を行った。 また、綾川町の区域から排出される一般廃棄物（し尿及び浄化槽汚泥を除く。）の中間処理（焼却、破砕）業務を高松市に委託し、一般廃棄物の搬入量に応じた経費を負担した。	
			45	し尿処理事業					○	○	三木町・綾川町から排出された、し尿及び浄化槽汚泥の処理業務を高松市が受託し、処理する。また、高松市と綾川町が共有している高松市国分寺し尿中継貯留槽の管理を綾川町が受託し管理を行う。	KPI設定対象外	-	-	-	-	-	A	【高松市】三木町、綾川町の区域から排出される一般廃棄物（し尿及び浄化槽汚泥）の中継輸送、処理を行った。 また、高松市国分寺地区から排出される一般廃棄物（し尿及び浄化槽汚泥）を貯留する中継貯留槽の維持管理を綾川町に委託し、搬入量等に応じた経費を負担した。 【三木町】三木町の区域から排出される一般廃棄物（し尿及び浄化槽汚泥）の中継輸送、処理業務を高松市に委託し、搬入量等に応じた経費を負担した。 【綾川町】高松市国分寺地区から排出される一般廃棄物（し尿及び浄化槽汚泥）を貯留する中継貯留槽の維持管理を行った。 また、綾川町の区域から排出される一般廃棄物（し尿及び浄化槽汚泥）の中継輸送、処理業務を高松市に委託し、搬入量等に応じた経費を負担した。		

連携協約項目					No.	事業（取組）名	連携する市町						事業概要	KPI（成果指標）						評価	取組実績
							さ	東	土	小	三	直		綾	KPI	KPI説明	単位	R6 目標	R6 実績	達成率	
圏域全体の生活関連機能サービスの向上	ア	生活機能の強化に係る政策分野	(ク)	環境	46	環境学習等推進事業	○	○	○	○	○	○	環境学習講座（環境ワークショップ）、出前講座及び自然観察体験事業について、圏域全体から参加者を募集し、環境保全意識の高揚や脱炭素型社会の実現のために圏域が連携して取り組む。	環境学習講座に参加した連携市町の参加者数	環境学習講座（環境ワークショップ）及び自然観察体験事業に参加した連携市町の参加者数	人	10	19	190%	C	【高松市】連携都市に広報協力をいただきながら、環境ワークショップ7回、自然観察体験事業9回、緑のカーテン講座2回の環境学習主催講座を開催した。 【さぬき市】県や他市町と連携を図りながら、具体的な取り組みの情報共有を図り、事業の拡大を行う。 【東かがわ市】高松市をはじめ、連携都市にご協力を得て、自然観察体験事業1回、1名参加となった。 【土庄町】連携都市の広報協力を行い、町事業として緑のカーテン育成講習会を1回開催した。 【小豆島町】高松市のチラシを掲示及び窓口に設置した。 【三木町】町ウェブサイトによる広報を行った。 【直島町】環境学習の目標値を達成することはできなかったが、引き続き周知等を行っていく。 【綾川町】町内の小学校2校と水生生物調査実施。 町内の小学校1校（4年生）と町内婦人会を対象に環境に関する出前講座を実施。 イオン綾川環境イベントを実施。高松市が主催する環境学習講座は、適宜綾川町HPにも掲載しているので、引き続き行う。
					47	環境負荷の少ない自動車の普及促進事業	○	○	○	○	○	○	次世代自動車の優れた環境性能の情報提供等、環境負荷の少ない自動車の普及促進に向けた取組を連携して実施する。	EV・PHVの普及台数	環境に負荷の少ない電気自動車（EV）及びプラグインハイブリッド車（PHV）（以下、「電気自動車等」という。）を多くの住民に周知することにより、自動車の新規購入や買換えの際における電気自動車購入の意識付けを行う。また、急速充電器の管理・運営を行うとともに、充電設備の設置状況の情報提供を行うことなどにより、電気自動車の普及を図る。	台	2,169	2,408	111%	A	【高松市】走行時に二酸化炭素を排出しない電気自動車の公用車に車体ラッピングを施し、市内を走行させることで、普及啓発につなげた。また、電気自動車の利用促進を図るため、市内3か所の道の駅に設置している急速充電設備の運営を行った。 【さぬき市】実績なし 【東かがわ市】民間企業と共同で市内5箇所の市所有施設にEV充電器を設置した。 【土庄町】電気自動車の利用促進を図るため、公用車として2台電気自動車を導入し、町内を走行している。また、町内2箇所（土庄港・道の駅残石記念公園）に急速充電設備の運営を行った。 【小豆島町】町内8カ所に設置している急速充電器の運営・無料開放を行った。 【三木町】公用車としてEV1台を導入 【直島町】電気自動車の利用促進を図るため、町有地に充電設備の設置を行った。 【綾川町】実施なし

連携協約項目				No.	事業（取組）名	連携する市町							事業概要	KPI（成果指標）						評価	取組実績
						さ	東	土	小	三	直	綾		KPI	KPI説明	単位	R6 目標	R6 実績	達成率	R6 総合 評価	
圏域全体の生活関連機能サービスの向上	ア	生活機能の強化に係る政策分野	(ク)	環境	48	小型家電等リサイクル推進事業	○	○	○	○	○	○	小型家電等のリサイクルについて、年1回程度の担当者会議を開催し、事業の実績や課題について情報交換を行い、相互に連携して取り組む。 広域の各種イベント等（不法投棄クリーン作戦など）において共同して、啓発活動を行う。	小型家電等の年間収集量	連携市町が実施するボックス回収・ピックアップ回収・イベント回収により回収された使用済小型家電の総量	トン	24.92	27.69	111%	A	【高松市】引き続き、市内23か所でのボックス回収、ピックアップ回収、イベント時の回収を行った。「小型家電等リサイクル推進事業担当課長会」は開催せず、連携市町の実績調査と結果をフィードバックし、情報共有を行った。 【さぬき市】引き続き、市内4か所でのボックス回収を行った。 【東かがわ市】引き続き他市町と連携し、HPや広報で周知を行う。 【土庄町】引き続き、町内でのボックス回収を行っていく。リチウムイオン電池等の関係から、保管方法については国の動向を注視し、適切な対応を行っていく。集めることの目標が希薄になっているため、新たな目標の必要性があると思っている。 【小豆島町】・町内2か所でのボックス回収を行った。 【三木町】町内2カ所に小型家電回収ボックスを設置して回収した。 【直島町】直島町クリーンセンターに直接持ち込み、依頼に応じて各家庭へピックアップ回収 【綾川町】町内2か所の回収ボックスにて回収した。また、民間業者と連携して回収量の増加とともに、回収費用の軽減を図りながら、リサイクルの推進および破碎ごみ等の排出量の抑制を行った。
	イ	結びつきやネットワークの強化に係る政策分野	(ア)	地域公共交通	49	地域公共交通再編事業	○	○			○		持続可能な公共交通ネットワークの形成に向け、鉄道を基軸としたバス路線の再編により、ネットワークの未接続が課題となっている行政区域外との公共交通によるネットワーク化について取り組む。	圏域市町と高松市をアクセスするバス路線数	取組の目的は、連携市町と高松市間の公共交通によるアクセス手段を確保することにより、公共交通の利便性向上を図るものであり、自治体を繋ぐバス路線数を増やす。	路線	3	3	100%	A	【高松市】バス路線再編により、交通結節拠点のことでん伏石駅から大学病院（三木町）を経由し、高田駅にアクセスする路線を新設した。今後、利用状況等について連携市町との情報共有に努める。 【さぬき市】取組実績なし 【東かがわ市】路線バスに対する各市町の支援方法を共有するなど、圏域としての効果的な支援策の検討を行った。 【三木町】広域的な公共交通ネットワークの構築に向けて担当者間で協議。 【綾川町】綾川町地域公共交通計画に基づき、令和6年度以降町営バス路線のコンパクト化及びデマンドタクシーの拡充（自宅から固定目的地の運行）を実施した。
			(イ)	ICTインフラ整備	50	ビジネスチャットツールを活用した情報共有等の促進事業	○	○	○	○	○	○	情報の共有や意思決定の迅速化を図るため、LGWAN環境で活用できるビジネスチャットツールを圏域内の自治体で共同利用する。	年間の業務削減効果/人	【根拠】トラストバンク（ロゴチャット提供会社）が実施した9自治体を対象とした効果検証の結果である、98時間/年間（240日）の業務時間の削減の指標から、連携中核都市圏に従事する割合が1割として試算 【評価】連携中核都市圏のトークルーム内において、職員1人、年間の平均利用回数20回以上が必須（メッセージ数／アクティブ数）	時間	78.4	133	170%	A	【高松市・さぬき市・東かがわ市・土庄町・小豆島町・三木町・直島町・綾川町】連携中核都市圏のトークルーム内において、職員1人、年間の平均利用回数は34、5回であり（メッセージ数2832／アクティブ数82）業務時間の削減は133、2時間であった。

連携協約項目				No.	事業（取組）名	連携する市町						事業概要	KPI（成果指標）						評価		取組実績
						さ	東	土	小	三	直		綾	KPI	KPI説明	単位	R6 目標	R6 実績	達成率	R6 総合 評価	
圏域全体の生活関連機能サービスの向上	イ	結びつきやネットワークの強化に係る政策分野	(イ)	ICTインフラ整備	51	放課後FACT-ory～「こどもの学びを地域で支える」を循環させる地域学習プラットフォームサービス～の推進事業	○	○	○	○	○	○	子どもの学びを地域で支えるための「地域学習プラットフォーム」を構築し、子どもの興味や好奇心と、地域の企業や団体等が持つ様々な情報とを、デジタル技術によって結びつけ、子どもの学習や体験の選択肢を拡げる。	地域のコンテンツプログラム掲載数	地域企業や団体等の活動情報や、子どもたちの探求結果等の掲載数	件	30	18	60%	C	【高松市】・業種や職種について地域の企業が教えてくれる「おしごと図鑑」を中心に構成したプラットフォームを全校で導入。 ・高松魅力発見プロジェクトとの連携として、高松まるっとマップをプラットフォーム内に掲載。 ・太田南小学校の「放課後チャレンジタイム」を活用し、ワークショップを計３回実施。 ・地域学校協働活動のコーディネーターと連携し、地域行事の準備に生徒が参加する事例を無理なく創出。 ・高校生を対象にした企業取材ワークショップを計２回実施。計２０名の生徒が参加。 ・香川大学企業部の大学生をメンターに登用し、地場大学生と高校生の交流を実現。 ・学校現場の負担軽減及びPFの利用促進のため、紙の配布物を一部PFに電子掲載する実証事業を太田南小学校、紫雲中学校で実施。 【さぬき市】実施実績なし 【東かがわ市】特に変化なし 【土庄町】今後、事業の本格的な連携に向け、詳細について協議・意見交換を行っていく 【小豆島町】特に無し 【三木町】担当者に出席し、各市町（学校）の現状報告や意見交換等を行った。また、町内中学校にてヒアリングを実施できるよう調整を行った。 【直島町】担当者会等には参加したが、具体的な取り組みには至っていない。 【綾川町】特になし。 事業内容について十分把握できていないため、本事業の情報収集につとめ、本町で展開できるが関係部署、学校等を含めて検討していきたい。
					52	（再掲） データ利活用型スマートシティ推進事業	○	○	○	○	○	○	データの利活用により、本市が抱える多様な地域課題の解決を図るため、産学民官の多様な主体が参画する「スマートシティたかまつ推進協議会」と連携し、IoT共通プラットフォーム等を活用して、様々な分野のデータの連携に向けた検討、データの収集・分析等を行う。	連携して収集・分析する地域課題の解決につながるデータ分野の数	IoT共通プラットフォーム等を活用して、各市町と連携し、収集・分析する地域課題の解決につながるデータ分野の数	分野	2	1	50%	C	【高松市】引き続きIoT共通プラットフォームを綾川町と共同利用している。 【さぬき市】情報を共有できる体制はあるが、具体的な取組は行っていない。 【東かがわ市】なし 【土庄町】なし 【小豆島町】高松市とは連携体制を構築できているが、実施には至っていない。 【三木町】関係者間の調整・情報共有を行った。 【直島町】特にございません。 【綾川町】河川監視カメラ・水位計を現に設置し、監視できている。出水期における避難情報発令のための情報として活用している。

連携協約項目				No.	事業（取組）名	連携する市町						事業概要	KPI（成果指標）						評価	取組実績
						さ	東	土	小	三	直		KPI	KPI説明	単位	R6 目標	R6 実績	達成率	R6 総合 評価	
圏域全体の生活関連機能サービスの向上	イ	結びつきやネットワークの強化に係る政策分野	(ウ) 道路等の交通インフラの整備・維持	53	橋りょう改築修繕事業	○	○	○	○	○	○	橋りょう長寿命化修繕計画に基づき実施している橋りょうの修繕について、連携市町との行政区域界の橋りょうの点検及び修繕を連携して進める。また、橋りょう長寿命化修繕計画について圏域全体で情報共有を行う。	KPI設定対象外	-	-	-	-	-	B	【高松市】橋りょう長寿命化修繕計画については、香川県内の道路管理者等で構成される「道路メンテナンス会議」を通して点検状況の報告を行い、圏域全体での情報共有を図った。 【さぬき市】橋りょう長寿命化修繕計画については、香川県内の道路管理者等で構成される「道路メンテナンス会議」により、圏域全体の情報共有がされたが、市町間での連携は本会議内では実施されていない。 【東かがわ市】国土交通省四国地方整備局（道路メンテナンス事務局）が開催する「道路メンテナンス会議」に参加し、事業における情報共有を行った。 【土庄町】有益な事業等の情報を連携市町で共有してもらった 【小豆島町】道路メンテナンス会議を通して情報共有を行った。 【三木町】橋りょう長寿命化修繕計画については、香川県内の道路管理者等で構成される「道路メンテナンス会議」を通して点検状況の報告を行い、圏域全体での情報共有を図った。 【直島町】県内の道路管理者等で構成されている「道路メンテナンス会議」において橋りょう長寿命化修繕計画における情報共有が図られている。 【綾川町】橋りょう長寿命化修繕計画の内容を連携市町で共有する。
				54	道路新設改良事業	○	○	○	○	○	○	生活道路（市道）の新設改良工事について、圏域全体で情報共有を行うほか、行政区域界の事業について、連携して進める。	KPI設定対象外	-	-	-	-	-	B	【高松市】行政区域界での生活道路（市道）の新設改良工事について、該当事案がなかった。 【さぬき市】行政区域界での生活道路（市道）の新設改良工事については、該当事案がなかった。 【土庄町】有益な事業等の情報を連携市町で共有してもらった 【三木町】行政区域界での生活道路（町道）の新設改良工事について、該当事案がなかった。 【綾川町】道路構造に関する情報を連携市町で共有する。
																				【高松市】【活用事業１：防災】 高機能消防指令システム部分更新等用務（高松市消防局情報指令課） 【活用事業２：課税】 固定資産税評価用務（高松市資産税課） 【活用事業３：インフラ整備】 漁港施設用地利用計画変更用務（高松市河港課）配水管工事等の計画、設計に関する事務（香川県広域水道企業団）農道台帳作成用務（高松市土地改良課） 【活用事業４：財産管理】 市有財産管理用務（高松市財産経営課） 【活用事業５：都市計画図作成】高松市地理空間データ基盤構築事業（高松市都市計画課） 【さぬき市】【活用事業１：防災】 交通防犯用システム（さぬき市危機管理課） 【活用事業２：課税】 固定資産税評価用務（さぬき市税務課） 【活用事業３：インフラ整備】 農業振興地域システム業務、多面的機能発揮促進事業（さぬき市農林水産課） さぬき市道路台帳整備（さぬき市建設課） 【活用事業４：財産管理】 市有財産管理用務（さぬき市財産活用課）

連携協約項目				No.	事業（取組）名	連携する市町						事業概要	KPI（成果指標）						評価	取組実績	
						さ	東	土	小	三	直		綾	KPI	KPI説明	単位	R6 目標	R6 実績			達成率
圏域全体の生活関連機能サービスの向上	イ	結びつきやネットワークの強化に係る政策分野	(ウ)	道路等の交通インフラの整備・維	55	広域航空写真地図データ整備事業	○	○	○	○	○	○	圏域市町が航空写真の共同撮影及びデータ整備を行い、防災、インフラ整備等に活用しながら、圏域内の生活機能の強化等に取り組む。	活用事業数	①各種防災計画に利用、②主に土地の利用状況調査に使用、③道路、水道の整備計画及びカーブミラーやガードレールの設置等、④市の土地の状況確認、⑤都市計画図作成	事業	5	5	100%	A	【活用事業５：都市計画図作成】 都市計画図デジタル基盤構築業務（さぬき市都市整備課） 【東かがわ市】広域航空写真地図データの活用事業の数 【活用事業】 1 防災 2 課税（主に土地の利用状況調査に使用） 3 インフラ整備（カーブミラーやガードレールの設置等） 4 財産管理（市の土地の状況確認等） 5 都市計画課（都市計画図作成） 【土庄町】 【活用事業１：防災】 防災関連用務（土庄町総務課） 【活用事業２：課税】 固定資産税評価用務（土庄町税務課） 【活用事業３：インフラ整備】 町道農道整備・管理用務（土庄町建設課、農林水産課） 【活用事業４：財産管理】 町有財産管理用務（土庄町総務課） 【活用事業５：都市計画図作成】 都市計画関係用務（土庄町建設課） 【小豆島町】 【活用事業１：地籍調査】 地籍調査用務（小豆島町総務課） 【活用事業２：課税】 固定資産税評価用務（小豆島町税務課） 【活用事業３：インフラ整備】 漁港施設用地利用計画変更用務（小豆島町建設課） 【活用事業４：農林業等業務】 農地確認等用務（小豆島町農林水産課） 【活用事業５：都市計画図作成】 都市計画図作成に関する業務（小豆島町建設課） 【三木町】広域航空写真地図データの活用事業の数 【活用事業】 1 防災 2 課税（主に土地の利用状況調査に使用） 3 インフラ整備（カーブミラーやガードレールの設置等） 4 財産管理（市の土地の状況確認） 5 都市計画課（都市計画図作成） 【直島町】固定資産税の課税のみならず、防災やまちづくり関連事業等において活用した。 【綾川町】 【活用事業１：防災】 報告・被災箇所確認 【活用事業２：課税】 固定資産税評価 【活用事業３：インフラ整備】 防犯灯、ごみステーションの設置位置、カーブミラー・ガードレール等。 【活用事業４：財産管理】 財産管理（土地の状況確認） 【活用事業５：空き家情報】 空き家情報などGISとの連携が可能な業務

連携協約項目				No.	事業（取組）名	連携する市町							事業概要	KPI（成果指標）						評価	取組実績		
						さ	東	土	小	三	直	綾		KPI	KPI説明	単位	R6 目標	R6 実績	達成率			R6 総合 評価	
圏域全体の生活関連機能サービスの向上	イ	結びつきやネットワークの強化に係る政策分野	(I)	地域の生産者や消費者等の連携による地産地消	56	ブランド農産物育成支援事業	○	○	○				○	圏域内の特産農産物について、パンフレットの配布・作成やイベントの活用等を通じて、連携してPRを行う。	たかまつ食と農のフェスタにおける出展者販売額	たかまつ食と農のフェスタを開催し、連携市町からも出展してもらい、地域の特産物のPR及び販売促進を図る。	千円	9,500	9,185	97%	A	【高松市】たかまつ食と農のフェスタを開催し、連携市町を含む地域の特産物のPR及び販売促進が図られた。 【さぬき市】たかまつ食と農のフェスタに市内事業者が参加し、市の特産物のPR及び販売促進が図られた。 【東かがわ市】特になし 【土庄町】たかまつ食と農のフェスタに出展し、地域の特産物のPR及び販売促進を図った。 【綾川町】たかまつ食と農のフェスタに出展し、地域の特産物のPR及び販売促進を図った。	
			(オ)	地域内外の住民との交流・移住促進	57	MICE参加者への情報発信を通じた大都市圏住民との交流促進事業	○	○	○	○	○	○	○	○	圏域内の市町で連携しながら、国際会議や全国会議等のMICE参加者に対して、圏域内の課題解決を図りながら、住民と交流する取組のPRを行うことで、大都市圏の住民との交流を促進し、定住・定着につなげる。	MICE参加者に向けてPRする取組事業数	MICE参加者に対して、情報発信を行い、参画を働きかける、圏域内の課題解決を図りながら住民と交流する取組の数。	件	5	2	40%	C	【高松市】高松観光コンベンションビューローに情報提供を行い、実際に取組にも参加した。今後はMICE参加者にも積極的に情報提供を行い参加を促す。 【東かがわ市】MICEのテーマに応じた各市町のコンテンツの洗い出し（例：ものづくり関連企業の集まりならCRASSO（クラッソ）など）。 【さぬき市・土庄町・小豆島町・三木町・直島町・綾川町】特になし
					58	「アグリ・スマートシティ」実証実験プロジェクト							○	航空機とICTを活用し、大都市圏の企業に勤める方々に、都会の仕事をテレワークで行いながら、地方において農業体験をしていただくなど、豊かで、新たなライフスタイルの創出を目指す。	プロジェクトの受入れを実施した地域の数	課題を抱える農業等の現状把握を目的とした体験フィールドの提供や課題解決に向けたワークショップを開催した地域の数	地域	3	1	33%	C	【高松市】塩江温泉郷で実施し、東京圏中心の県外から11名を招き、観光コンテンツのモニタリングと、地域住民との地域課題の解決に向けたワークショップを実施した。 【綾川町】マンパワー不足により実施できなかった。	
					59	移住・交流促進事業	○	○	○	○	○	○	○	○	人口減少、少子・超高齢社会に対応し、圏域のイメージアップや地域の活性化に資するため、香川県とも連携しながら、Uターン希望者を始めとする大都市圏の現役世代に向け、圏域内の情報発信や就職・移住に関する相談対応を行うなど、移住・交流促進策に取り組む。	圏域市町全体での社会増減	同左	人	1,200	686	57%	B	【高松市】オンライン移住相談を拡充したほか、連携市町合同の大都市圏における移住相談会や子育て支援施設で移住者交流会を開催するとともに、お試し移住を開始した。 【さぬき市】香川県や他市町とともに、東京圏や関西圏での移住フェアに参加したほか、オンライン移住相談会に参加した。 【東かがわ市】対面での移住フェアや相談会だけでなく、オンラインの移住相談会にも参加した。また、市のホームページだけでなく、「ピタマチ」など移住希望者が利用するサイトにも移住相談会の開催情報や市の情報を掲載するなど情報発信も行った。 【土庄町】香川県移住フェアのほか、小豆島町と連携し、小豆島・豊島単独の移住セミナーを都市部で開催 島内では移住者交流会やオンラインによる移住相談を実施 【小豆島町】香川県移住推進協議会の枠組みで県外での移住フェアに3回参加した。土庄町と共同で小豆島単独の移住セミナーを5回開催した。 【三木町】連携市町合同で実施した東京での移住相談会へ参加し、移住を検討する方からの相談対応を行った。 【直島町】引き続き継続実施。 【綾川町】連携市町合同の大都市圏における移住相談会に参加した。

連携協約項目				No.	事業（取組）名	連携する市町						事業概要	KPI（成果指標）						評価	取組実績
						さ	東	土	小	三	直		KPI	KPI説明	単位	R6 目標	R6 実績	達成率		
圏域全体の生活関連機能サービスの向上	イ	結びつきやネットワークの強化に係る政策分野	(力)その他、結びつきやネットワークの強化に係る連携	60	公共施設等の共同利用整備事業	○	○	○	○	○	○	圏域内の公共施設の共同設置又は共同運用を目的に、圏域全体でのファシリタメネジメントを実施する。	新たに共同利用又は共同整備を行う施設数	既存の連携施設以外で、新たに共同利用又は整備に取り組む施設の数	施設数	1	0	0%	C	【高松市・さぬき市・東かがわ市・土庄町・小豆島町・三木町・直島町・綾川町】香川県が主催する「香川県公有財産最適利用連絡協議会 東ブロック会議」において、連携市町との協議を1回実施した。
	ウ	圏域マネジメント能力の強化に係る政策			61	人材育成事業、合同研修等の実施事業	○	○	○	○	○	高松市が企画し、実施する職員研修に連携市町職員が参加する。連携中樞都市圏事業として平成28年度から事業実施している。	合同研修の開催回数	合同研修の機会を増やし、圏域自治体職員の能力向上及び市町域をまたいだ交流や連携を図るため。	回	6	6	100%	A	【高松市】実践的政策形成能力を高めるための研修を始め、行政環境の変化に対応できる幅広い視野を養うための研修を合同で実施し、圏域内市町職員の能力・資質の向上を図った。 （開催回数）業務改善能力向上研修1回、係長職員研修1回、手話技術研修1回、キャリアデザイン＆モチベーションアップ研修1回、女性職員エンパワー研修1回、やさしい日本語研修1回 【さぬき市】令和6年度については、研修参加者なしであった。 【東かがわ市】令和6年度瀬戸・高松広域連携中樞都市圏交流研修の4研修（係長職員研修、女性職員エンパワー研修、キャリアデザイン＆モチベーションアップ研修、やさしい日本語で交流研修）に各1名参加。 【土庄町】令和6年度については、研修参加者なしであった。 【小豆島町】令和6年度瀬戸・高松広域連携中樞都市圏交流研修の3研修（係長職員研修、女性職員エンパワー研修、やさしい日本語で交流研修）に各1名参加。 【三木町】令和6年度瀬戸・高松広域連携中樞都市圏交流研修の5研修（一般職員Ⅱ部研修（業務改善）、係長職員研修、手話技術研修、女性職員エンパワー研修、キャリアデザイン＆モチベーションアップ研修、やさしい日本語で交流研修）に各1名参加。 【直島町】令和6年度については、研修参加者なしであった。 【綾川町】令和6年度瀬戸・高松広域連携中樞都市圏交流研修の2研修（手話技術研修、やさしい日本語で交流研修）に各1名参加。